

款 8 土木費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
19,519,763,837 円	18,189,532,185 円	93.2%	1,227,508,367 円	102,723,285 円

項 1 土木管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
868,776,000 円	850,987,901 円	98.0%	0 円	17,788,099 円

目 1 土木総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
868,776,000 円	850,987,901 円	98.0%	0 円	17,788,099 円

〔一般職給〕 7 8 人 651,490,130 円（県支出金 2,009,110 円）
（その他特財 16,513,164 円）

〔嘱託職給〕 1 人 2,945,902 円

〔再任用職給〕 2 人 7,000,057 円

（都市計画課）

〔委員報酬〕 96,000 円

・ 建築紛争あっせん調停委員会委員 6 人

〔紛争あっせん調停事業費〕 11,310 円

（建築指導課）

目的	法律等に基づき建築物の安全を確保し良好な住環境とする				
指標	完了検査合格率 (検査済証発行件数/ 確認済証発行件数)	目標	95%	実績	96.5% (1738 件/1801 件)
説明	建築物の安全性の確保及び違反建築物の防止に資するとの観点から完了検査合格率の向上が重要であると捉え、必要な普及、啓発を行いました。工事監理者、建築主に対してハガキ、電話での通知、督促等を実施し、目標を達成しました。また、指定確認検査機関への申請が年々増加していることから、指定確認検査機関に対し完了検査合格率向上について引き続き要請を行いました。				

〔建築指導事務費（建築確認支援システム）〕 3,597,300 円（その他特財 3,597,300 円）

〔委員報酬〕 189,600 円

・ 建築審査会委員 7 人

・ 旅館建築審査会委員 5 人

完了検査合格率の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度
四日市市	85.9%	86.6%	92.0%	96.5%

その他経費

〔建築指導事務費（安全防災関連経費）〕	1,424,730 円（その他特財 1,424,730 円）
耐震改修に関する相談会経費（4会場）	
〔建築指導事務費〕	11,478,481 円（県支出金 111,000 円） （その他特財 11,367,481 円）
〔指定道路台帳整備事業費〕	10,185,000 円（国庫支出金 5,092,000 円）
〔全国建築審査会協議会等負担金〕	292,000 円（その他特財 292,000 円）

（道路整備課）

〔土木積算システム業務費〕	3,260,795 円
---------------	-------------

（市街地整備・公園課）

目的	道路後退用地整備による住環境の向上				
指標	総延長に対する累計整備延長	目標	4.15%	実績	4.19% (19年度 3.93%)
説明	狭あい道路対策として道路拡幅用地の寄付を受け道路整備を進めています。20年度の整備延長は約3.2kmでほぼ前年度並の実績となり、総延長(1,200km)に対する累計整備延長率は4.19%になり目標を達成しました。				

〔狭あい道路対策費〕	129,059,228 円
------------	---------------

狭あい道路後退用地整備事業実績

区分	寄付		舗装等の整備		助成金の交付	件数	
	19年度	20年度	19年度	20年度		19年度	20年度
件数(件)	211件	173件	149件	144件	測量分筆登記 支障物件除去	158件 74件	202件 104件
延長(m)	4,080m	3,166m	3,229m	3,207m			
面積(m ²)	2,655m ²	1,962m ²	2,344m ²	2,265m ²			

（用地課）

〔未登記道路調査事業費〕	22,289,238 円
未登記道路を解消するための調査、測量および登記等を行う費用	

（営繕工務課）

目的	市民に安全で使いよい公共建築等を提供する				
指標	工事完成後、概ね1年間における不具合発生率	目標	0%	実績	0%(0件/55件) (19年度 1.4%、1件/71件)
説明	各部署から依頼された建築物等の新築、増築、改修、耐震補強工事及び設備工事の設計、監督を行いました。 この業務を行うに際しては、安全で使いよい施設であることはもちろんのこと、コスト縮減、環境負荷の低減に配慮するとともに、バリアフリー化に努めました。施設運営に支障をきたす不具合発生率は0%でした。今後も不具合率0%の維持に努めます。				

〔営繕事務費〕	3,626,918 円
〔公共建築協会等負担金〕	298,500 円

営繕受託業務の状況

区 分	主 な 工 事・委 託	計
総務部関係施設	市庁舎 6 階危機管理室改修工事 人権プラザ小牧改修工事 寺方児童集会所相談室ほか改修工事	9 件
税務理財部関係施設	新々町分庁舎解体工事 新々町分庁舎解体工事設計業務委託	3 件
市民文化部関係施設	文化会館第 1 ホール吊り物更新工事 あさけプラザ舞台機構更新工事 八郷地区市民センター空調設備改修工事	10 件
楠総合支所関係施設	本郷第 1 用水機場ポンプ取替工事	1 件
福祉部関係施設	下野保育園遊戯室改修工事 あさけワークス事務室ほか空調設備改修工事 保々保育園遊戯室、テラス天井改修工事	4 件
健康部関係施設	総合会館 4 階保健所事務室等整備工事設計業務委託	1 件
商工農水部関係施設	食肉センター・食肉市場豚部分肉カット室改修整備工事 四日市競輪場選手管理棟屋上防水工事 北勢公設地方卸売市場組合施設改修工事	29 件
環境部関係施設	北大谷斎場火葬炉設備更新工事 北部清掃工場井戸設置工事	3 件
都市整備部関係施設	坂部が丘市営住宅住戸改善工事 高花平市営住宅耐震補強工事 三重団地市営住宅住戸改善工事	19 件
教育委員会関係施設	下野小学校大規模改造工事 山手中学校大規模改造工事 市営温水プール耐震補強等改修工事 桜中学校バリアフリー化工事	30 件
消防関係施設	四日市市中消防署中央分署整備事業 四日市市中消防署中央分署整備事業監理業務委託 消防分団車庫耐震診断業務委託	11 件
合 計		120 件

項 2 道路橋梁費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,717,264,228 円	2,239,383,073 円	82.4%	455,002,705 円	22,878,450 円

目 1 道路橋梁総務費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
249,928,000 円	240,780,139 円	96.3%	0 円	9,147,861 円

〔一般職給〕 14人 143,802,064 円 (県支出金 2,787,477 円)

(都市計画課)

目的	広域幹線道路の整備促進				
指標	事業進捗状況	目標	早期整備	実績	新名神 四日市 JCT～菰野 IC 用地調査着手 菰野 IC～亀山西 JCT 設計協議着手 北勢バイパス 三重地区以南の用地交渉着手
説明	新名神高速道路、東海環状自動車道及び国道1号北勢バイパス等の広域幹線道路の整備促進のため、事業主体と一体となり関係地区との事業調整を図るとともに、各期成同盟会等による要望活動を行いました。				

路線名	19年度進捗率(進捗状況)	20年度進捗率(進捗状況)
新名神高速道路	<ul style="list-style-type: none"> 四日市 JCT～菰野 IC 八郷、保々地区 設計協議確認書調印 菰野 IC～亀山西 JCT 水沢地区 測量調査に基づき設計計画図面を作成 	<ul style="list-style-type: none"> 四日市 JCT～菰野 IC 八郷・保々地区 用地幅杭設置、埋蔵文化財調査 下野地区 設計協議成立、用地幅杭設置 菰野 IC～亀山西 JCT 水沢地区 設計協議
国道1号北勢バイパス	<ul style="list-style-type: none"> 大矢知地区 本線下部工、上部工等の工事を推進 三重地区 設計協議成立、用地幅杭設置・ 用地境界立会・用地単価提示 神前地区 設計協議を継続 	<ul style="list-style-type: none"> 大矢知地区 本線下部工、上部工等の工事を推進、未買収地取得のための法的手続き 三重地区 用地単価提示、用地交渉 神前地区 設計協議成立、用地幅杭設置

〔負担金〕	2,388,000 円
・北勢バイパス建設促進期成同盟会等負担金	1,110,000 円
・日本道路協会等負担金	1,278,000 円
〔広域基幹道路整備基金積立金〕	7,194,541 円 (その他特財 7,194,541 円)

(市街地整備・公園課)

〔国道23号沿道環境整備事業費補助金〕	1,122,500 円
防音工事助成 1件	

(道路管理課)

〔道路台帳整備事業費〕	12,698,700 円
市道 7,843路線 2,130.5 km	

(用地課)

目的	道路・河川・水路・公園の官民境界査定				
指標	処理件数	目標	40日	実績	37日(950件)
	処理日数		(1,100件)		(19年度 39日 1,045件)
説明	市が管理する官地(道路・河川・水路・公園)と、それに接した民地との境界線について、現地で立会いを行い確認しました。北勢バイパス、新名神高速道路などの大型公共事業や、企業立地のためなどの広範囲の区域の境界立会いが実施され、事務量が増加したが、目標を上回ることができた。現在、事務の効率化を図るため、境界査定管理システムの導入中であり、システム稼働を平成21年度末に予定している。				

〔境界査定業務費〕	20,135,226 円
-----------	--------------

その他経費

〔負担金〕 400,481 円
 ・用地対策連絡協議会等負担金

目2 道路維持費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
386,383,000 円	360,406,564 円	93.3%	17,000,000 円	8,976,436 円

〔一般職給〕 14人 113,930,408 円
 〔嘱託職給〕 4人 12,005,057 円

(道路整備課)

目的	道路の維持				
指標	道路損傷個所での事故件数	目標	過去3ヵ年平均数の10%減(10件以下)	実績	13件(19年度7件)
説明	安全で円滑な交通を確保し、道路瑕疵による交通事故を抑制するため計画的な道路パトロールを実施し、道路損傷個所の早期発見と早期補修に努めました。また、市単独経済対策事業として実施することになりました、道路維持修繕(3件)については、3月補正予算での計上であるため、全額を繰り越し、平成21年度に施工します。				

〔道路雪水対策費〕	2,829,750 円	委託料(10件)	1,611,750 円
		需用費(融雪剤)	1,218,000 円
〔道路維持修繕費〕	207,368,701 円	委託料(124件)	150,844,840 円
		原材料費(133件)	26,814,704 円
		負担金(5件)	14,329,487 円
		工事請負費(6件)	8,938,650 円
		道路事故賠償金他(15件)	6,441,020 円
〔道路パトロール等事業費〕	14,076,317 円	需用費(車両修繕)	732,900 円
		委託料	12,600,000 円
		使用料(車両リース)	618,467 円
		備品購入費	124,950 円
〔一般経費〕	10,179,881 円		

目3 道路新設改良費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,587,053,228 円	1,187,608,600 円	74.8%	395,540,705 円	3,903,923 円

〔一般職給〕 4人 28,985,777 円

(道路整備課)

〔明許繰越〕 282,600,228 円

〔地方道路整備臨時交付金事業費（道路）〕

119,280,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
			国庫支出金 市 債	
・山村平津線 (千代田町及び 山分町地内)	工事費 橋梁下部工 2基 事務費	64,780,000		65,604,000
・大鐘19号線 (伊坂町及び 西大鐘町地内)	工事費 L=258.9m W=11.0m 法面工 A=3,150 m ² 小型水路工 L=484.7m 舗装工 A=1,837 m ² 付帯工 1式 事務費	39,900,000		53,600,000
・東坂部20号線 (東坂部町及び 小杉新町地内)	工事費 L=152.0m W=16.0m 側溝工 L= 235.7m 擁壁工 L= 76.1m 舗装工 A=2,197 m ² 事務費	14,600,000		
地方道路整備臨時交付金事業費（道路）計		119,280,000		119,204,000

〔地方特定道路整備事業費（道路）〕

108,990,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
			市 債	
・下海老寺方線 (平尾町及び 下海老町地内)	用地費 A=1,072.47 m ² 補償費 物件移転補償2件 事務費	108,990,000		108,900,000
地方特定道路整備事業費（道路）計		108,990,000		108,900,000

〔準幹線道路整備事業費〕

25,850,228 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・大鐘19号線 (中村町地内)	工事費 L=140.0m W=8.0m 擁壁工 L=158.0m 小型水路工 L=132.0m 舗装工 A=1,630 m ² 交差点改良工 1式 付帯工 1式	25,850,228		

〔道路改良単独事業費〕

28,480,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・東坂部20号線 (東坂部町及び 小杉新町地内)	工事費 L=152.0m W=16.0m 側溝工 L=235.7m 擁壁工 L= 76.1m 舗装工 A=2,197 m ² 事務費	7,252,000		
・大鐘19号線 (中村町地内)	工事費 L=140.0m W= 8.0m 擁壁工 L=158.0m 小型水路工 L=132.0m 舗装工 A=1,630 m ² 交差点改良工 1式 事務費	2,293,000		
・大矢知垂坂1号線 ・垂坂1号線 ・大鐘19号線	委託料 測量設計業務委託 事務費	18,935,000		
道路改良単独事業費 計		28,480,000		

(道路整備課)

目的	幹線道路の整備				
指標	幹線道路の整備延長 (平成17年度からの累計)	目標	3,153 m	実績	2,998 m (19年度 2,451 m)
説明	快適な市民生活及び円滑な経済活動を支えるための市内幹線道路ネットワークの整備に取り組みました。平成20年度は土地収用法に基づく手続きを経て用地取得した大鐘19号線及び東坂部20号線において、当該区間の工事を進め、供用を開始しました。平成20年度の実績については、用地交渉等の遅れにより翌年度へ繰越したために目標を下回りました。				

[主要路線事業進捗率]

路線名	事業計画年度	進捗率
大鐘19号線	平成9年度～平成20年度	100.0%
東坂部20号線	平成16年度～平成20年度	100.0%
小杉新町2号線	平成18年度～平成24年度	21.6%
山村平津線	平成8年度～平成22年度	88.8%
垂坂1号線	平成19年度～平成21年度	17.5%

[地方道路整備臨時交付金事業費(道路)]

138,804,145円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・大鐘19号線 (伊坂町及び 西大鐘町地内)	工事費 L=258.9m W=11.0m 法面工 A=3,150 m ² 小型水路工 L=484.7m 舗装工 A=1,837 m ² 事務費	2,100,000	国庫支出金 市 債	85,939,000 52,800,000

・垂坂1号線 (垂坂町地内)	用地費 A=2,800.86 m ² 事務費 (一部平成20年度 明許繰越)	34,796,845		
・小杉新町2号線 (東坂部町他2町地内)	工事費 L=258.4m W=12.0m 側溝工 L=521.3m L型街渠工 L=327.9m 舗装工 A=2,741 m ² 事務費 (一部平成20年度 明許繰越)	867,300		
・山村平津線 (千代田町及び 山分町地内)	工事費 橋台工 1基 橋脚工 1基 桁製作工 1式 道路工 L=20.0m W=14.0m 用地費 A=1,063.75 m ² 補償費 物件移転補償3件 事務費 (一部平成20年度 明許繰越)	101,040,000		
地方道路整備臨時交付金事業費(道路) 計		138,804,145		138,739,000

〔県営事業負担金〕 7,213,200 円

・国道306号外6線 道路整備事業に伴う三重県への負担金

〔公社健全化事業費〕 2,566,292 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・新開橋整備事業 用地取得事業	用地費 公共用地特会への支出	2,566,292		

目的	準幹線道路の整備				
指標	整備延長 (平成19年度からの累計)	目標	833 m	実績	383 m (19年度 383 m)
説明	幹線道路の整備効果を高める目的で幹線道路へ接続する補助幹線的な生活道路の整備に取り組みました。平成20年度は、下海老寺方線の用地取得を実施しました。平成20年度の実績については、一部路線において用地交渉の遅れや関係機関との調整等により翌年度へ繰越しました。				

〔地方特定道路整備事業費（道路）〕

85,499,800 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源		
・下海老寺方線 (寺方町他2町地内)	工事費 L=729.2m W=9.75m 側溝工 L=1,030.5m 自由勾配側溝 L=179.0m L型街渠工 L=603.2m L型擁壁工 L=114.0m 舗装工 A=6,777 m ² 委託料 用地測量業務 工作物調査業務 用地費 A=2,011.5 m ² 補償費 物件移転補償4件 事務費 (一部平成20年度 明許繰越)	85,499,800	市	債	76,900,000

〔準幹線道路整備事業費〕

14,225,900 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源		
・日永東日野線 (日永西一丁目及び 東日野一丁目地内)	工事費 L=175.1m ホックス加ハート工 L=174.8m (一部平成20年度 明許繰越)	11,540,000			
・日永7号線 (日永一丁目地内)	工事費 L=71.1m W=7.5m 側溝工 L=73.77m 舗装工 A=122 m ² (一部平成20年度 明許繰越)	2,685,900			
準幹線道路整備事業 計		14,225,900			

目的	一般市道の整備				
指標	施工延長（平成 17 年度からの累計）	目標	23,154 m	実績	23,503 m (19 年度 19,644 m)
説明	<p>地域からの要望に応えることにより、道路が良くなっていると実感できる道づくりに取り組んでいます。平成 20 年度は、大矢知垂坂 1 号線の用地取得や小林波木線、平尾 4 8 号線の整備を行いました。さらには、主要道路リフレッシュ事業において、劣化の著しい道路の再舗装を行ったほか、居住地域内の狭小道路の改良や劣化の著しい道路の再舗装等を行い市民生活の安全性の向上に努めました。</p> <p>また、国の二次補正（市では 3 月補正）により実施することになりました交差点改良及び再舗装等の地域活性化・生活対策臨時交付金事業につきましては繰り越しとなり、平成 21 年度に施工します。</p>				

〔主要道路リフレッシュ事業費〕

50,988,941 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔再舗装〕 下野保々線 外 7 線 (市内一円)	工事費 再舗装工 A=10,601 m ² L=1,588 m 委託料 調査設計業務委託	50,988,941		
主要道路リフレッシュ事業費 計		50,988,941		

〔生活に身近な道路整備事業費〕

360,385,732 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔舗装新設〕 ・北五味塚江川線 外 1 1 線 (市内一円)	工事費 舗装新設工 A=4,858 m ² L=1,746 m (一部平成 20 年度 明許繰越)	16,687,650		
〔再舗装〕 ・富田金場線 外 2 9 線 (市内一円)	工事費 再舗装工 A=13,533 m ² L=3,733 m (一部平成 20 年度 明許繰越)	51,561,029		
〔舗装付帯〕 ・東坂部三ツ谷線 外 5 4 線 (市内一円)	工事費 側溝工 L=2,948m (一部平成 20 年度 明許繰越)	96,240,698		

〔その他〕 (市内一円)	その他道路施設工及び交通安全施設工 1式 (一部平成20年度 明許繰越)	195,896,355		
生活に身近な道路整備事業費 計		360,385,732		

〔道路改良単独事業費〕

174,548,736 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・小林波木線 (波木町地内)	工事費 L=245.0m W=6.3~6.8m 側溝工 L=35.0m 擁壁工 L=189.0m 舗装工 A=1571 m ²	8,118,600		
・平尾48号線 (平尾町地内)	工事費 L=55.0m W=12.15m L型擁壁工 L=57.1m 自由勾配側溝工 L=56.4m 函渠工 L=30.0m 舗装工 A=558.5 m ²	17,464,650		
・大矢知垂坂1号線 (大矢知町地内)	用地費 A=606.47 m ² 補償費 物件移転補償2件 (一部平成20年度 明許繰越)	20,685,154		
・山田10号線 外16線 (市内一円)	委託料・工事費 用地費・補償費 事務費 (一部平成20年度 明許繰越)	128,280,332		
道路改良単独事業費 計		174,548,736		

〔道路舗装事業費〕

19,996,022 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔再舗装〕 八郷中央通り線 外6線 (市内一円)	工事費 再舗装工 A=5,999 m ² L=1,094 m 委託料 地質調査業務	19,996,022		
道路舗装事業費 計		19,996,022		

(市街地整備・公園課)

〔地区計画道路整備事業費〕

7,690,530 円

路線名	事業内容	実施額
小林地区内道路	道路築造工事 幅員 6 m 延長 130m 用地測量 1 式、道路測量設計 1 式 補償 1 件(電柱移設)	7,690,530

(道路管理課)

〔私道整備補助金〕

2,700,000 円

・采女町地内 外 1 件

(市営住宅課)

〔道路改良単独事業費〕

40,389,074 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・永宮町市営住宅跡地 への進入路 (日永西一丁目地内)	用地費 A=692.78 m ²	40,389,074		
道路改良単独事業費 計		40,389,074		

目 4 橋梁維持費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,000,000 円	1,988,731 円	99.4%	0 円	11,269 円

(道路整備課)

目的	適切な橋梁の維持管理				
指標	補修橋梁数	目標	1 橋	実績	1 橋 (19 年度 2 橋)
説明	内部川に架かる矢矧橋の橋梁修繕に先立つ関係機関との協議及び測量業務を実施するとともに、三滝川に架かる老松橋の再塗装を実施し、橋梁施設の維持管理に努めました。				

〔橋梁修繕工事費〕

1,988,731 円

目 5 橋梁新設改良費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
491,900,000 円	448,599,039 円	91.2%	42,462,000 円	838,961 円

(道路整備課)

〔明許繰越〕

148,400,000 円

〔橋梁整備単独事業費〕

148,400,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・磯津橋 (塩浜町)	工事費 橋脚補強工 5 橋脚	148,400,000	市 債	148,400,000
橋梁整備単独事業費 計		148,400,000		148,400,000

目的	橋梁の整備				
指標	落橋防止整備済橋梁数(累計)	目標	3 4 橋	実績	3 5 橋 (19 年度 32 橋)
説明	<p>東海・東南海・南海地震等の大規模地震災害に備え、緊急輸送道路・防災連絡道路をはじめ市街地や主要路線上の橋梁の耐震化を橋梁耐震化計画の優先順位に従い計画的に実施しています。</p> <p>平成 2 0 年度の成果としては、つんつく大橋と東名阪に架かる 2 橋梁について落橋防止対策工事を完成させたほか、三重橋については橋梁上部工工事を実施しました。また、長寿命化修繕計画策定事業につきましては、国の二次補正で採択されたもので、交付申請等の手続きが年度末となり年度内契約が見込めず、平成 2 1 年度に実施するものです。</p>				

〔石原南五味塚線(磯津橋)橋梁整備事業費〕 159,995,850 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・磯津橋 (塩浜町地内)	工事費 支承取替工 3 0 基 梁補強工 5 橋脚 落橋防止工 1 式 桁端補強工他 1 式 床版補強工 1 式	159,995,850	市 債	151,900,000

〔地方道路整備臨時交付金事業費(橋梁)〕 1,320,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・海山道跨線橋 (海山道町一丁目ほか 2 町地内)	工事費 落橋防止工 8 箇所 変位制限工 8 箇所 沓座拡幅工 8 箇所 事務費 (一部平成 2 0 年度 明許繰越)	1,320,000	国庫支出金 市 債	726,000 500,000
地方道路整備臨時交付金事業費(橋梁) 計		1,320,000		1,226,000

〔橋梁整備単独事業費〕 138,883,189 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・中馬谷橋、横谷橋 (桜町及び 智積町地内)	負担金 耐震詳細設計 2 橋 耐震補強工事 2 橋	23,570,739	市 債 その他特財	86,300,000 40,786,725

・つんつく大橋 (日永西一丁目 二丁目地内)	工事費 落橋防止工 9箇所 変位制限工 7箇所 付帯工 1式	26,051,550		
・三重橋 (桜町及び 菰野町神森地内)	工事費 橋梁上部工 1式 橋面舗装工 A=304 m ² 高欄工 L=73.0m 補償費 配電線路移設 1式	82,197,550		
橋梁点検業務委託	委託料 橋梁点検 79橋	7,063,350		
橋梁整備単独事業費 計		138,883,189		127,086,725

項3 交通安全対策費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
270,055,000円	263,776,179円	97.7%	2,467,500円	3,811,321円

目1 交通安全対策総務費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
138,721,000円	135,806,194円	97.9%	0円	2,914,806円

〔一般職給〕 4人 25,226,829円

〔嘱託職給〕 1人 2,701,468円

(道路管理課)

〔明許繰越〕 2,464,350円

〔放置自転車対策事業費〕 2,464,350円

近鉄泊駅自転車駐輪場整備工事

(道路整備課)

〔交通安全施設等管理費〕 60,837,552円 (その他特財 144,000円)

市内道路照明灯電気使用料

(道路管理課)

目的	交通安全に関する啓発事業を実施する			
指標	交通安全に関する講習会等の実施回数	目標	183回以上	実績 115回 (19年度78回)
説明	四日市市交通安全協議会を母体として、各警察署や各交通安全協会、自治会、PTA、老人会等の各種市民団体と連携して、各種交通安全教室や講座、街頭啓発等を実施した。特に、今年度から始まった交通安全教育指導員による交通安全教室に重点を置いて、各種教室や講座を実施した。なお20年度目標回数については、設置初年度であり、交通安全教育指導員の運営費等、経費が大幅に必要となったため、目標回数に達せなかった。			

〔交通安全啓発推進費〕 1,648,550円

<参 考> 交通安全に関する講座・講習会等の実施回数

区 分	17年実績	18年実績	19年実績	20年実績
回 数	52回	65回	78回	115回

その他経費

〔放置自転車対策事業費〕	35,907,445 円 (その他特財 1,584,430 円)
撤去台数 3,235 台	
〔交通安全教育事業補助金〕	3,700,000 円
〔四日市市交通安全協議会補助金〕	3,300,000 円
〔負担金〕	20,000円
三泗地区交通安全対策協議会	

目2 交通安全施設整備費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
131,334,000 円	127,969,985 円	97.4%	2,467,500 円	896,515 円

〔一般職給〕 1人 6,531,510 円

(道路整備課)

目的	安心して通れる歩行空間づくり				
指標	交通安全施設の 実施件数	目標	300件	実績	543件 (19年度 468件)
説明	市民誰もが安心して、快適に暮らせる歩行空間づくりのため、平成21年度を目処に堀木日永線、赤堀末永線、四日市中央線、金場新正線の一部において延長1,900mの歩道及び自転車歩行者道の整備を計画しており、このうち平成20年度は金場新正線他を照明灯の設置及び段差の解消を図り、420m整備しました。また、市内全域において、防護柵やカーブミラーなどの修繕を261箇所、区画線の修復を81箇所、照明灯の修繕を201件実施し、交通安全施設の維持管理に努めました。				

〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業計画年度	進捗率
堀木日永線外3線 (歩道・自転車歩行者道整備)	平成16年度～平成21年度	85.0%

〔交通安全施設整備補助事業費〕 50,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・四日市中央線 (幸町他2町 地内)	工事費 照明灯工 19基 舗装復旧工 A = 80 m ²	50,000,000	国庫支出金	27,500,000
			市 債	10,100,000
・金場新正線 (栄町他4町)	歩道舗装工 A = 2,295 m ²			
	取付道路舗装工 A = 280 m ²			
	照明灯工 22基 事務費			

〔交通安全施設整備単独事業費〕

73,518,475 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・高角 9 号線 外 1 0 線 (市内一円)	委託料 測量設計業務 工事費 歩道整備工 L=479m 交差点改良工 1 箇所 待避所設置工 1 箇所	23,951,750		
・その他 (市内一円)	その他交通安全施設工 1 式	47,730,583		
・事務費		1,836,142		
交通安全施設整備単独事業費 計		73,518,475		

項 4 河川費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
952,436,440 円	753,586,659 円	79.1%	187,965,750 円	10,884,031 円

目 1 河川総務費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
158,945,000 円	158,591,489 円	99.8%	0 円	353,511 円

〔一般職給〕

1 0 人

84,341,000 円 (県支出金 12,000 円)

(河川排水課)

目的	河川・排水路等の適正な維持管理				
指標	河川維持補修率 (河川維持補修延長/河川全延長)	目標	27.6%	実績	26.8% (19 年度 26.7%)
説明	災害等緊急時に河川・排水路・調整池等の能力が発揮できるよう重要度、緊急度を勘案しながら必要箇所について維持管理に努めました。河川維持補修率については、効率的な発注に努め、概ね目標を達成しました。				

〔河川等維持修繕費〕

47,626,821 円

市街化調整区域内の河川・水路の維持修繕
市管理河川

区 分	河川数	管理総延長
市管理河川	9 3	1 1 9, 6 5 3 m
うち準用河川	2 3	5 0, 8 9 3 m

〔樋門等管理費〕 1,795,179 円 (国庫支出金 549,567 円)
(県支出金 659,470 円)

国、県より受託した樋門及びゲート 10 箇所、市管理樋門、ゲート 4 箇所の管理業務

〔調整池管理費〕 18,281,550 円

市内 5 8 箇所の雨水調整池の管理

〔溜池維持修繕費〕 408,450 円 (その他特財 20,422 円)

上筋狭間池の補修工事の実施

〔負担金〕 698,214 円

三重県河川協会等負担金

目 2 河川改良費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
793,491,440 円	594,995,170 円	75.0%	187,965,750 円	10,530,520 円

〔一般職給〕 2 人 16,426,389 円

〔明許繰越〕 205,528,440 円

〔準用河川改修事業費〕 175,530,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・米洗川中流 (別名六丁目及び大 字羽津地内)	工事費 伏越工(900) L=21.4 m 鋼製スライドゲート設置工 2 門 接続柵工 2 箇所	35,385,000	国庫支出金 市 債	58,510,000 111,200,000
・朝明新川 (中村町及び大鐘町 地内)	工事費 L = 159.9 m 護岸工(左)A=894.7 m ² (右)A=772.1 m ² 仮設工 1 式	98,417,921		
・萱生川 (中村町及び萱生町 地内)	工事費 取付水路工 1 式 鋼矢板打込工 (型 L=7.5 m)132 枚 仮設道路工 1 式 L=95.0 m 仮設橋梁(L=7.0 m W=12.0 m) 1 橋 仮駐車場工 1 式 A=1,800 m ² (67 区画) 負担金 三岐鉄道中村第 3 橋梁 改築工事委託に係る負 担金	41,727,079		
準用河川改修事業費 計		175,530,000		169,710,000

〔十四川調整池整備事業費〕

29,998,440 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・十四川調整池 (大矢知町地内)	工事費 地盤改良工(浅層・中層混合処理工法) L=184.4 遮水矢板工 L=178.9 m 仮設工 1式 地質調査 1式	29,998,440	市 債	29,200,000

(河川排水課)

目的	治水事業の推進				
指標	河川整備率 (準用河川の整備率)	目標	57.2%	実績	57.1% (19年度 53.3%)
説明	治水事業は、市民の生命・財産を守るうえからも実施しなければならない重要な事業であり、本年度も準用河川改修事業、河川改良事業、排水路改良事業等を実施しました。河川整備率については、準用河川の3河川について事業を執行し、補正予算等による前年度からの繰越や翌年度への繰越もありましたが、概ね目標を達成しました。				

〔準用河川改修事業費〕

66,600,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・米洗川中流 (別名六丁目及び大字羽津地内)	工事費 L = 16.0 m 橋梁工 1基 橋長(L=12.3 m W=4.0 m幅員) 護岸工 L=16 m(両岸) 補償費 電柱移設 2本 事務費 (一部平成20年度明許繰越)	2,565,000	国庫支出金 市 債	22,200,000 42,100,000
・朝明新川 (中村町及び大鐘町地内)	工事費 L = 136.7 m 護岸工(左)A= 335 m ² (右)A=1276 m ² 仮設工 1式 事務費 (一部平成20年度明許繰越)	3,054,000		
・萱生川 (中村町及び萱町地内)	工事費 工事用進入路築造工 A=655 m ² 工事用進入路養生工 A=780 m ² 側溝設置工(360B) L=48 m 負担金 三岐鉄道中村第3橋 梁改築工事委託に係る負担金	60,981,000		
	事務費 (一部平成20年度明許繰越)			
準用河川改修事業費 計		66,600,000		64,300,000

〔十四川調整池整備事業費〕

137,400,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・十四川調整池 (大矢知町地内)	工事費 逆T型擁壁工 L=190.4 m 付替水路工 L=127.5 m 連節ブロック工 A=852 m ² ブロック工 A=788 m ² 分水柵工 1箇所 事務費	137,400,000	市債	137,400,000

〔治水度ジャンプアップ事業費〕

17,304,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・治水度ジャンプアップ (市内一円)	委託料 溜池測量業務 1式 調査検討業務 1式 治水対策検討業務 1式	17,304,000		

〔普通河川三鈴川河川改良事業費〕

22,433,400 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・三鈴川 (楠町南五味塚地内)	工事費 L = 144.78 m 張ブロック工 A=651.0 m ² 事務費 (一部平成20年度事故繰越)	22,433,400	市債	21,300,000

〔西山第1橋(水路橋)耐震補強事業費〕

11,005,344 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・西山第1橋(水路橋) 耐震補強 (西山町)	委託料 変状調査業務 (詳細調査検討業務) 1式	11,005,344		

〔普通河川半谷川河川改良事業費〕

5,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・半谷川 (中村町及び平津町地内)	工事費 水路嵩上工 1式 (右岸)L=272.4 m (左岸)L=250.7 m 暗渠工 L=18.0 m ゲート工 1式	5,000,000	市債	4,700,000

〔河川単独事業費〕

118,986,290 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・河川改良事業 市内一円	委託料 1式 工事費 1式 補償費 1式 (一部平成20年度明許繰越)	19,221,589	市債	18,200,000

・排水路改良事業 市内一円	委託料 1式 工事費 1式 補償費 1式	96,307,334	市 債	91,400,000
	市単独事務費	3,457,367		
河川単独事業費 計		118,986,290		109,600,000

項5 港湾費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,665,778,000 円	1,663,932,213 円	99.9%	0 円	1,845,787 円

目1 港湾総務費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,665,778,000 円	1,663,932,213 円	99.9%	0 円	1,845,787 円

目的	四日市港が市民に親しまれる港になる				
指標	海上アクセス利用者数	目標	160,000 人	実績	66,694 人 (19年度 158,105 人)
説明	四日市港と中部国際空港（セントレア）を結ぶ海上アクセス事業については、運航事業者の経営内容の悪化により4月に事業者が交代し、さらに急激な燃料費の高騰などがあったことから、平成20年10月1日に運航が終了しました。景気低迷により空港利用者が減少するとともに、事業を再開するためには、船舶、空港側ターミナルなどの整備に多額の費用が必要となることから、市民の声を伺い、議会と十分に協議しつつ、再開の是非について判断します。				

〔一般職給〕	7,856,185 円
〔港湾事務費〕	300,073 円
〔海上アクセスターミナル関連施設経費〕	54,356,955 円
〔四日市港管理組合負担金〕	1,600,959,000 円
〔三重県港湾海岸協会負担金〕	350,000 円
〔港湾都市協議会等負担金〕	110,000 円

項6 都市計画費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
4,614,594,169 円	3,999,387,714 円	86.7%	580,426,012 円	34,780,443 円

目1 都市計画総務費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
292,737,000 円	270,760,661 円	92.5%	0 円	21,976,339 円

〔一般職給〕	17人	148,998,986円	(県支出金 440円)
			(その他特財 11,131,212円)
〔嘱託職給〕	1人	2,945,633円	(県支出金 2,949,176円)

(都市計画課)

目的	計画的な土地利用を進める				
指標	まちづくり3 条例による適 正な土地利 用の誘導を行う	目標	条例等の制定・運用指 針の見直し	実績	都市計画まちづくり条 例、景観条例・景観計 画の運用、都市計画マ スタープラン全体構想 に基づく都市計画決定
	市街化区域内 人口比率		87.0% (H 21 目標)		86.4% (19年度 86.3%)
説明	都市計画マスタープラン全体構想に基づき内陸部の工業適地における東芝、八千代工業の工場拡張計画に対応した地区計画を都市計画決定しました。 また、景観法の施行により、本市は景観行政団体に移行し、景観条例及び景観計画により良好な景観形成を推進するため、事前相談を通じて行為の制限など指導を行いました。 更に、土地利用の基本となる都市計画マスタープラン全体構想の策定から5年を経過したことから、社会経済情勢の変化を踏まえた見直しに着手しました。				

〔土地利用計画策定調査費〕	1,970,470円
都市計画基礎調査等	
〔都市計画マスタープラン策定調査費〕	5,775,000円
〔都市計画策定費〕	214,200円
〔都市計画情報提供事業費〕	113,400円
〔景観計画推進事業費〕	472,500円
〔委員報酬〕	474,000円
・都市計画審議会委員 15人	
〔負担金〕	705,000円
・都市計画協会負担金	200,000円
・三重県都市計画協会等負担金	505,000円

目的	円滑に移動できる交通体系にする				
指標	自家用車依存から 公共交通利用への 転換	目標	総合交通体系を 検討	実績	公共交通活性化に向け総 合交通体系関連調査に着 手
	バス・鉄道利用者 数		前年度以上		29,994千人 (19年度 29,911千人)
説明	歩いて暮らせるまちづくりを実現するために、公共交通のあり方を検討する既成市街地整備調査や気軽に自転車を活用できる空間整備事業調査としてレンタサイクルの社会実験などを行いました。一方、交通空白地域の市民の交通手段を確保するため、市内3路線の自主運行バスの運行維持に努めるとともにNPOが運行する「生活バスよっかいち」へ引き続き支援を行いました。				

〔既成市街地整備事業調査費〕	1,995,000円
〔気軽に自転車を活用できる空間整備事業費〕	2,700,427円
〔地方バス路線維持費〕	39,965,100円 (県支出金 5,818,000円)
磯津高花平線、神前高角線、山城富洲原線 (年間利用者数 延べ 74,146人)	
〔市民自主運行バス支援事業費〕	3,600,000円
生活バスよっかいち 年間利用者数 (延べ 27,313人)	

〔市民の一步を支える公共交通活性化事業費〕	1,702,739 円
公共交通を利用した市内再発見ルート募集等 (111 周年記念事業)	
〔負担金〕	213,000 円
・リニア中央エクスプレス建設促進同盟会負担金	36,000 円
・三重県鉄道網整備促進期成同盟会等負担金	177,000 円

目的	市民主体のまちづくりが進むよう啓発・支援を行う				
指標	まちづくり構想 の策定地区数 (累計)	目標	4 地区	実績	4 地区 (19 年度 4 地区)
説明	大矢知、楠地区では、まちづくり構想策定に向けた策定委員会が開催されました。更に羽津、八郷、保々地区では、まちづくり構想勉強会として都市計画マスタープランなどの説明会を開催し、支援を行いました。				

〔まちづくり活動支援事業費〕 4,133,803 円

目的	里山を市民の手で保全する活動を支援する				
指標	市民緑地制度による支援 団体数(累計)	目標	6 団体	実績	5 団体 (19 年度 5 団体)
説明	里山保全については、既設の 5 団体 (県地区の「グリーンパーク岡山」、桜地区の「初瀬ビオトープ」、河原田(かわらだ竹林公園)、内部「貝家町ビオトープ」、四郷「八王子秋の小径」) への活動を支援し、岡山市民緑地などで区域拡張を行いました。また、県地区を会場に「市民緑地連絡協議会」による第 1 回市民緑地フェアを開催し、専門家を交えたシンポジウム等の研修活動を実施しました。				

〔里山保全事業費〕 2,492,900 円

(開発審査課)

〔委員報酬〕	163,200 円
・開発審査会委員 7 人	
〔開発技術研修等負担金〕	154,000 円 (その他特財 154,000 円)

開発許可等の審査件数、審査面積	183 件 68.5ha (189 件 39.5ha)
-----------------	-------------------------------

〔開発審査事務費〕 2,635,796 円 (その他特財 2,635,796 円)

(道路管理課)

〔ふれあいモール維持管理費〕	6,349,674 円 (その他特財 2,682,145 円)
清掃・維持管理業務を委託	
〔近鉄高架下土地管理費〕	31,911,238 円 (その他特財 7,026,840 円)
〔屋外広告物簡易除却事務費〕	4,005,661 円 (県支出金 4,005,661 円)
除却数 4,951 枚 うち除却ボランティア除却数 653 枚 (11 団体 115 人)	
〔駐車場維持管理費〕	708,750 円
市営駐車場定期点検を委託	

目2 土地区画整理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
710,743,000 円	710,743,000 円	100.0%	0 円	0 円

一般会計から土地区画整理事業特別会計に繰り出しました。(都市計画税充当額 100,560,000 円)

目3 街路事業費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,825,600,819 円	1,344,185,153 円	73.6%	475,706,012 円	5,709,654 円

〔一般職給〕 5人 36,341,400 円

(都市計画課)

目的	円滑に移動できる交通体系にする				
指標	自家用車依存から公共交通利用への転換	目標	総合交通体系を検討	実績	公共交通活性化に向け総合交通体系関連調査に着手
	バス・鉄道利用者数		前年度以上		29,994 千人 (19年度 29,911 千人)
説明	都市の効率的な交通網の構築に向けて、長期未着手の都市計画道路の見直しに着手しました。また、市内随一の交通結節点として多くの人々が利用する近鉄四日市駅の耐震化事業に対し支援(国・県・市の協調補助)を行なったほか、市中心部のもうひとつの拠点駅であるJR四日市駅周辺では、活性化のための方策を検討するとともに市制111周年記念事業として「JR四日市駅周辺にぎわいの市」を開催しました。				

〔JR 四日市駅周辺活性化検討〕 5,691,000 円
 〔近鉄四日市駅耐震化促進事業費〕 3,347,750 円
 〔都市計画道路見直し事業費〕 5,670,000 円
 〔JR 四日市駅周辺にぎわいの市事業費〕 4,000,000 円
 111周年記念事業イベントの実施

(道路整備課)

〔明許繰越〕 466,372,819 円

〔街路補助事業費〕 400,440,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔臨時交付金〕 ・千歳町小生線 (城西町地内)	委託料 建物調査業務 用地費 A=83.30 m ² 補償費 物件移転補償2件 工事費 L=568.0m W=22.0m	66,870,000	国庫支出金 市 債	220,242,000 180,100,000

	排水工 L= 314.0m 集水桝工 34 箇所 舗装工 A=5,710 m ² 事務費			
・環状1号線 (垂坂町地内)	用地費 A=906.84 m ² 補償費 物件移転補償 9 件 工事費 擁壁工 L=389.2m 排水工 L=745.0m 道路付属施設工 L=191.0m 歩道舗装工 A=950 m ² 照明灯工 1 式 事務費	333,570,000		
	地方道路整備臨時交付金事業費 (街路) 計	400,440,000		400,342,000
	街路補助事業費 計	400,440,000		400,342,000

〔地方特定道路整備事業費(街路)〕

65,932,819 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・四日市関ヶ原線 (滝川町地内)	用地費 A=531.24 m ² 補償費 物件移転補償 12 件	65,932,819	市 債	65,900,000
	地方特定道路整備事業費(街路) 計	65,932,819		65,900,000

(道路整備課)

目的	街路の整備			
指標	街路の整備延長 (平成17年度からの 累計)	目標	4,337 m	実績
				3,586 m (平成19年度 3,586 m)
説明	<p>快適な市民生活及び円滑な経済活動が行えるよう、市内の道路ネットワークを構築するため、幹線街路の整備に努めました。</p> <p>千歳町小生線の一部区間(堀木日永線以西)の供用を開始した。しかしながら暫定税率の失効等の影響により工事着手が遅れ、翌年度へ繰越したため、平成20年度の目標を達成できませんでした。</p> <p>また、生活道路への車両進入が減少したことにより、安全性が向上しました。</p> <p>近鉄・三岐富田駅前広場整備事業は、平成21年度より供用開始できるよう事業に取組み、計画どおり、供用開始しました。</p>			

〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業計画年度	進捗率
千歳町小生線	平成14年度～平成21年度	93.9%
環状1号線	平成16年度～平成21年度	64.7%

〔街路補助事業費〕

386,300,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔臨時交付金〕 ・千歳町小生線 (城西町地内)	工事費 L=450.0m W=22.0m 排水工 L=867.0m 舗装工 A=7,530 m ² 事務費 (一部平成20年度 明許繰越)	32,930,000	国庫支出金 市 債	158,565,000 122,000,000
・環状1号線 (垂坂町地内)	工事費 L=120.0m W=16.0m 掘割擁壁工 L=34.7m 函渠工 L=45.8m 仮設工 L=32.4m 舗装工 A=1,060 m ² 事務費 (一部平成20年度 明許繰越)	255,370,000		
	地方道路整備臨時交付金事業費 (街路) 計	288,300,000		280,565,000
〔まちづくり交付金〕 ・近鉄三岐富田駅前 広場整備事業 (富田四丁目地内)	委託料 事後評価業務委託 工事費 駐輪施設工 1式 舗装工 A=3,853 m ² 歩行者用屋根 1式 排水工 1式 事務費	98,000,000	国庫支出金 市 債	38,500,000 55,100,000
	まちづくり交付金事業費 計	98,000,000		93,600,000
	街路補助事業費 計	386,300,000		374,165,000

〔地方特定道路整備事業費(街路)〕

85,709,929 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・四日市関ヶ原線 (滝川町地内)	用地費 A=1,054.99 m ² 補償費 物件移転補償7件 (一部平成20年度 明許繰越)	85,709,929	市 債	77,100,000

〔街路単独事業費〕

25,973,807 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・千歳町小生線 ・環状1号線 ・四日市関ヶ原線 ・その他	委託料 測量調査設計業務 工事費 付帯工 用地費 用地事務費 補償費 補償 3件 事務費 (一部平成20年度 明許繰越)	25,973,807	市 債	25,500,000

〔公社健全化事業費〕

104,599,075 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・堀木日永線	用地費 公共用地特会への支出	33,194,749	都市計画税	18,100,000
・阿倉川西富田線	用地費 公共用地特会への支出	1,290,737		
・赤堀山城線	用地費 公共用地特会への支出	6,043,692		
・環状1号線	用地費 公共用地特会への支出	17,371,817		
・富田本町線	用地費 公共用地特会への支出	9,827,712		
・橋北中学校 (高浜陶栄線)	用地費 公共用地特会への支出	36,870,368	都市計画税	20,100,000
公社健全化事業費 計		104,599,075		

(市街地整備・公園課)

目的	円滑な交通とまちづくりの推進				
指標	近鉄連立進捗状況	目標	仮線敷用地確保・仮線設置着手	実績	仮線敷用地確保・仮線設置着手
説明	踏切除却による慢性的な交通渋滞の解消及び末永町・本郷町と橋北地区の一体化をめざす近鉄川原町駅付近連続立体交差事業は、施行者である三重県が18年度末に事業認可を受け、19年度より本格的に事業着手しました。年度目標に掲げたとおり、仮線敷用地の円滑な確保に向け地権者との交渉等において積極的な支援に努めた結果、本年度末にて用地確保のめどがたち、また仮駅舎も完成するなど、仮線設置に向けた準備が着々と進んでいます。				

〔連続立体交差事業負担金〕

157,500,000 円 (市債 149,600,000 円)

近鉄名古屋線連続立体交差事業に伴う三重県への負担金

〔川原町駅周辺地区整備事業費〕

24,570,000 円 (国庫支出金 14,594,800 円)

末永滝川線高質化、案内板設置

(市債 8,400,000 円)

〔公社健全化事業費〕

53,775,426 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
J R 四日市貨物駅移 転用地取得事業	用地費 公共用地特会への 支出	53,775,426	都市計画税	29,463,000

目 4 公園管理費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
515,627,000 円	439,749,496 円	85.3%	70,000,000 円	5,877,504 円

〔一般職給〕 5人 44,959,987 円

(都市計画課)

目的	緑化基金を活用して市民の手で緑を保全する活動を支援する				
指標	花と緑いっぱい事業参加 団体数	目標	65 団体	実績	70 団体 (19 年度 65 団体)
説明	花と緑いっぱい事業補助金については、公園や街路花壇で活動を実施する 70 団体に補助を行い、平成 19 年度の 65 団体から 5 団体増加しました。 (平成 20 年度末基金残高 185,115,101 円)				

〔花と緑いっぱい事業費〕 9,361,721 円 (その他特財 8,938,911 円)

〔緑化基金積立金〕 2,877,451 円 (その他特財 2,877,451 円)

(市街地整備・公園課)

目的	公園愛護活動の推進				
指標	公園愛護団体 数	目標	233 団体	実績	233 団体 (19 年度 231 団体)
説明	住民との協働による効率的な維持管理が行えるよう公園愛護団体結成の啓発に努めた結果、平成 20 年度の実績は 2 団体増となり、目標を達成しました。				

〔公園愛護会育成費〕 3,107,960 円 (その他特財 1,600,000 円)
公園愛護団体への清掃用具等の貸与

目的	公園及び街路樹の適正な維持				
指標	事故件数(管理瑕疵 があるもの)	目標	0 件	実績	0 件 (19 年度 0 件)
説明	安全で快適な公園の維持管理及び街路樹の健全な育成に努めました。				

〔公園施設管理費〕 348,902,376 円 (その他特財 3,932,203 円)

公園の除草・清掃、公園樹木及び街路樹の剪定をはじめ公園施設全般の管理

〔公園施設安全対策費〕 4,830,000 円 公園遊具の保守点検等 (一部平成 20 年度明許繰越)

〔公園施設維持補修費〕 24,400,107 円 公園施設の修繕、補修工事等

種別	開設箇所	開設面積	備考
公園緑地 ()内は 19 年度実績	403 (398)	291.38ha (289.9ha)	うち街区公園 340 箇所 (336 箇所)
街路樹 ()内は 19 年度実績	51 路線 (51 路線)	約 11,000 本 (約 11,000 本)	四日市中央線 金場新正線 四日市西町線 外

その他経費

〔公園緑地協会負担金〕

110,000 円

目5 公園建設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,269,886,350 円	1,233,949,404 円	97.2%	34,720,000 円	1,216,946 円

〔一般職給〕 2人 14,602,000 円

(市街地整備・公園課)

〔明許繰越〕 167,593,350 円

〔公園緑地整備補助事業費〕 111,600,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・垂坂公園・羽津山緑地 整備事業 (大字羽津外地内)	用地費 用地取得面積 10,831 m ² 事務費	111,600,000	国庫支出金 市 債	37,200,000 67,000,000
公園緑地整備補助事業 計		111,600,000		104,200,000

〔霞ヶ浦緑地跨道橋耐震化事業費〕 55,993,350 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・霞ヶ浦緑地跨道橋耐震 化事業 (大字羽津地内)	工事費 跨道橋耐震補強工 1式	55,993,350	市 債	53,100,000
霞ヶ浦緑地跨道橋耐震化事業 計		55,993,350		53,100,000

目的	公園及び緑地事業の推進				
指標	市民1人当 りの供用面積	目標	9.25 m ² /人	実績	9.28 m ² /人 (19年度 9.25 m ² /人)
説明	南部丘陵公園南ゾーンにおいて花見広場の整備を進め、本年度は0.3haの供用を開始しました。また、垂坂公園・羽津山緑地の整備推進のため、事業用地の取得を行いました。これらの取組みの結果、開発行為による公園の開設を含め供用面積は1.4ha増加し、市民一人あたり供用面積9.25 m ² の目標を達成しました。				

〔公園緑地整備補助事業費〕 166,580,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・南部丘陵公園整備事業 (西日野町外地内)	工事費 公園整備工(園路工) 1式 管理施設設置工 1式 修景施設設置工 1式 事務費	34,000,000	国庫支出金 市 債	17,000,000 15,300,000

・垂坂公園・羽津山緑地 整備事業 (大字羽津外地内)	委託費 園路測量設計委託 1式 用地費 用地取得面積 10,464 m ² 事務費 (一部平成20年度 明許繰越)	132,580,000	国庫支出金 市 債	46,640,000 77,300,000
公園緑地整備補助事業 計		166,580,000		156,240,000

〔川原町駅周辺地区整備事業費〕

13,632,300 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・川原町駅周辺地区整備 事業 (本郷町外地内)	工事費 本郷3号公園整備工 1式 滝川公園改修工 1式 事務費	13,632,300	国庫支出金 市 債	7,405,200 4,600,000

〔霞ヶ浦緑地親しみ空間整備事業費〕

24,999,450 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・霞ヶ浦緑地親しみ空間 整備事業 (大字羽津甲地内)	工事費 園路整備工 1式 花壇整備工 1式 ストレッチ器具設置工 1式	24,999,450		

〔公園緑地整備単独事業費〕

539,972,437 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・市内一円の公園緑地	工事費 1式 委託費・調査設計 1式	13,740,560	都市計画税	111,626,000
・大気汚染対策緑地償還 金	羽津山緑地事業費償還 楠中央緑地(公園緑地譲受費)	239,374,860 240,243,639		
・北勢中央公園建設負担 金	県公共事業費負担金 県単独事業費負担金	38,711,000 209,700	市 債	34,800,000
・単独事務費		7,692,678		
公園緑地整備単独事業費 計		539,972,437		

〔公社健全化事業費〕

321,171,867 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・富田中公園用地取得事業費	公共用地特会への支出	43,644,174		
・南部丘陵公園用地取得事業費	公共用地特会への支出	192,931,512		
・安島児童公園用地取得事業費	公共用地特会への支出	84,596,181		
公社健全化事業 計		321,171,867		

項7 下水道費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
7,634,487,000 円	7,634,487,000 円	100.0%	0 円	0 円

目1 下水道整備費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
7,634,487,000 円	7,634,487,000 円	100.0%	0 円	0 円

一般会計から公営企業下水道事業会計に支出しました。(都市計画税充当額 1,711,403,284 円)

〔負担金〕

・下水道雨水処理費 4,958,638,000 円

〔補助金〕

2,675,849,000 円

・下水道汚水処理費基準内 846,540,000 円

・下水道汚水処理費基準外 1,829,309,000 円

項8 住宅費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
796,373,000 円	783,991,446 円	98.4%	1,646,400 円	10,735,154 円

目1 住宅管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
744,320,000 円	741,654,486 円	99.6%	0 円	2,665,514 円

〔一般職給〕 9人 76,026,435 円 (その他特財 71,390,878 円)

〔嘱託職給〕 2人 6,727,632 円 (その他特財 6,068,044 円)

(都市計画課)

目的	まちなか居住を進める			
指標	中部地区の人口	目標	23,800 人	実績 24,071 人 (19年度 23,758 人)
説明	諏訪新道周辺において共同住宅の供給が行われ、まちなか居住の人口が増加へと繋がった。			

〔特定優良賃貸住宅供給促進事業費〕

7,160,440 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
家賃対策補助 (ハレザ 未永外 3 団地)	対象戸数 23 戸	2,078,440	国庫支出金	1,036,000
			県支出金	507,000
建設費利子補給 (ハレザ 未永外 1 団地)	補助金	5,082,000	県支出金	2,540,000
特定優良賃貸住宅供給促進事業費 計		7,160,440		4,083,000

〔住宅整備資金融資貸付金〕

5,839,000 円(その他特財 5,839,000 円)

〔住情報提供推進事業費〕

22,245 円

(市営住宅課)

目的	市営住宅のバリアフリー化				
指標	高齢者・障害者対応 住宅供給戸数	目標	283戸	実績	283戸 (19年度 275戸)
説明	既存住宅を改良することにより、高齢者対応住宅を7戸、障害者対応住宅を1戸供給しました。				

〔高齢者・障害者向け住宅改修事業費〕

27,122,445 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・高齢者・障害者向け 改修工事 (三重団地外)	工事費 高齢者向7戸 障害者向1戸	27,122,445	国庫支出金 その他特財	13,200,000 13,922,445

目的	市営住宅使用料の滞納整理				
指標	現年度収納率	目標	92.00%	実績	92.09% (19年度 92.40%)
説明	家賃滞納問題については、入居者が低額所得者であるという実情を考慮し、個々の状況を勘案しながら納付指導を行うとともに、その徴収に当たっては督促・呼び出し・訪宅等の方法をもって厳しく対処しました。また、悪質な滞納者に対しては支払督促などの法的措置を実施しました。(28件)これらの措置を講じたことにより、目標どおりの成績を挙げることができました。				

〔市営住宅維持補修費〕

146,314,535 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・一般修繕	雨漏り、水漏れ修理 下水管貫通清掃、樹木の剪定 等	63,420,333	国庫支出金 その他特財	4,487,000 141,827,535
・空家修繕	空家の修理	56,815,762		
・その他	保守点検委託、保険料 地デジ調査委託、前田町浄化 槽最終清掃委託等	26,078,440		
維持補修費 計		146,314,535		146,314,535

〔市営住宅整備事業費〕

52,044,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・電気容量改良工事 (坂部が丘外1団地)	20Aから30Aに改良	16,065,000	国庫支出金 その他特財	14,931,000 37,113,000
・改修工事 (高花平団地)	天井・壁・床改修、窓手摺取替 等	10,256,100		
・グループホーム改修工 事(三重団地)	グループホーム対応への改修	4,880,400		

・浄化槽他解体工事外 (前田町団地)	浄化槽・受水槽の解体等 下水切替	4,378,500		
・手摺塗装工事 (坂部が丘団地)	外部手摺・隔て壁・物干塗替	4,977,000		
・その他	小鹿が丘団地除却等	11,487,000		
整備事業費 計		52,044,000		52,044,000

その他経費

〔委員報酬〕	126,400 円 (その他特財	126,400 円)
・市営住宅入居者選考委員会委員 6 人		
〔市営住宅整備基金積立金〕	389,276,200 円 (その他特財	389,276,200 円)
(平成 9 年 12 月設置 平成 20 年度末現在高	535,751,287 円)	
〔住宅新築資金等貸付事業特別会計繰出金〕	6,598,000 円	
〔負担金〕日本住宅協会	50,000 円 (その他特財	50,000 円)
〔管理人報償金〕	3,788,400 円 (その他特財	3,788,400 円)

目 2 住宅建設費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
52,053,000 円	42,336,960 円	81.3%	1,646,400 円	8,069,640 円

〔一般職給〕 2 人 15,434,910 円

(市営住宅課)

目的	市営住宅の安全確保				
指標	耐震補強戸数	目標	40 戸	実績	40 戸 (19 年度 90 戸)
説明	耐震基準を満たしていないコンクリートブロック造住宅のうち高花平市営住宅について必要な耐震対策工事(40戸)を実施しました。残りのあさけが丘、石塚町、泊ヶ丘町の3団地について平成21年度に工事を行うことで、耐震対策は完了します。				

〔老朽市営住宅耐震対策事業費〕 13,180,650 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・耐震対策工事 (高花平団地)	工事費 コンクリートブロック造 2 階建住宅の耐震対策工 事等	13,180,650		

〔曙町市営住宅建設事業費〕 13,721,400 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・アドバイザー業務 委託	委託料 建替事業支援、 地質調査	13,721,400	国庫支出金	10,290,000